

一、 次の漢字に振り仮名を振ってください。(30%)

- | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|------|----|------|----|----|----|------|
| 1 | 紫 | 2 | 催す | 3 | 真っ青 | 4 | 最寄 | 5 | 重複 |
| 6 | 名残 | 7 | 蚊帳の外 | 8 | 逆鱗 | 9 | 素人 | 10 | 時雨 |
| 11 | 世間体 | 12 | 共稼ぎ | 13 | お払い箱 | 14 | 会釈 | 15 | お門違い |

二、 次の文を中国語に翻訳せよ。(40%)

また、あの日が巡ってきます。また、あの季節がやって来ます。また、思い出し涙する人もいるでしょう。ドラマのような幸運は実際にはやってきませんが、ドラマのような悲劇はやってきます。不幸はいつも突然劇的に、私たちに襲います。

それでも、私たちは回復してきました。東日本大震災から2年めの日を、丁寧に迎えたいと思います。

東日本大震災。何の誇張もなく未曾有の大災害です。地震や津波で、死ぬほどの恐怖を味わい、大切な人や家財産を失い、目の前で命が失われ、多くのご遺体と直面し、原発事故で故郷を失う。それがどれほど深い心の傷になるかは、被災地外の人間の想像を遙かに超えたものでしょう。

2年たって、「まだ現実味がない」と語る人がいるほどです。時間がたつほどにストレスがたまる人もいます。

特に今回の震災では、救助も支援物資も遅れ、多くの人が長い困窮生活を送りました。この時の「見捨てられ感」や「心の傷」が、今も痛む人もいます。

それでも、激しい悲しみや症状は、2年たって、しだいに小さくなってきているでしょうか。ただ、治ってしまったわけではありません。どの人の心の傷も、少し小さくはなったけれども、ずっと続いています。あるいは、激しい症状の人は少なくなっても、少数の人は強い症状に長い間苦しみ続けます。また逆に、2年たった今になって症状が出る人もいます。

身体の傷は、出血していればわかりやすいですし、2年も血が出続けることはありません。でも、心の傷は大きくてもわかりにくいものです。深い悲しみを心に秘めて、元気な姿を見せている人もいます。何年も何十年も、苦しみ続けることも珍しくありません。

【東日本大震災から2年：心のリカバリーのために必要なことは？より抜粋】

三、 作文(30%)

題目：これまでの学校生活でもっとも印象に残る経験 (400~600字)